

# Bj

第1133号 昭和58年1月17日・第三種郵便物認可 平成26年1月1日(毎月1日・10日・20日発行)

## CHUGOKU 備後の経済情報誌

定価 **400** YEN 本体価格381円  
年間購読料13,000円(送料・税込み)

# ビジネス情報

メールでの情報提供は [bj@e-chusen.com](mailto:bj@e-chusen.com)

JANUARY 2014

# 1 | 1

iPhone/iPad/Android対応  
電子ブックでもご覧いただけます  
ウック 中国ビジネス情報 検索

喜多流大島能楽堂  
大島家4代目  
大島 政允さん



人材に関する  
お悩みを  
お持ちの  
人事担当者様へ

そのお悩みを解決する  
数々の商品があります。

仕事のサンテック

**e 仕事のサンテック**

福山本社  
〒720-0273 広島県福山市南蔵王町4丁目17-43 TEL.084-626-1451  
■サンテック直営 ■サンテック岡山  
■お仕事相談所/神辺、井原、備前、総社、東廣

医療法人 畜生会  
**楠本病院**  
日本医療機関評価機構認定病院

救急医療指定病院  
(がん化学療法・透析療法)  
介護療養型医療施設  
訪問看護ステーション  
通所リハビリテーション

福山市南蔵王3-19-18 TEL.0841-954-3030(代表)  
<http://www.nakamoto-hiroshima.med.or.jp/kaijirip/kaisaku.html>

## 会員特別融資制度をスタート

〈笠岡商工会議所〉

## 「冬の情熱カーニバル」に3100人

〈アクюраホーム福山支店〉

## 各界からの年頭所感

# この人に聞く

喜多流大島能楽堂 大島家4代目 大島 政允さん

[巻頭特集] 企業ズームアップ プレヒまわり

# 薬店から「生活便利店」へ

本部併設の新涯店リニューアル、再編加速でも独立を堅持

あの日、あの時、あのニュース。  
残しておきたい記事を、  
ジャーナルプレートに。

掲載記事があればいいです。  
私に連絡ください。  
担当: 平田・中山  
TEL 084-953-8800  
ANNIVERSAL

**JOURNAL PLATE**

幸の鳥 レディース  
クリニック 日曜も  
診察しています

●診療内容  
不妊治療・子宮がん検診  
更年期外来・月経不調・月経痛  
流産手術・習慣流産・ピル処方

●診療時間  
通期 9:00-12:00  
通期 16:00-18:00  
平日 9:00-12:00

●休診日 木曜・祝日・日曜午後

TEL 084-940-1717 福山市南蔵王3-19-18 福山駅前ビル100号

介護用品専門  
**ほろかせ**

0120-23-0772

**いしおか医院**  
CLINICA ●内科●胃腸内科●放射線科

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)  
下部消化管内視鏡検査(大腸カメラ)

福山市大門町3丁目19-14  
Tel (084) 946-5100  
<http://www.011.upp.co-net.ne.jp/ishoka/>

# この人に聞く



喜多流大島能楽堂  
福山市光南町2-2-2  
TEL 084-923-2633  
http://www.noh-oshima.com

## 喜多流大島能楽堂 大島家4代目

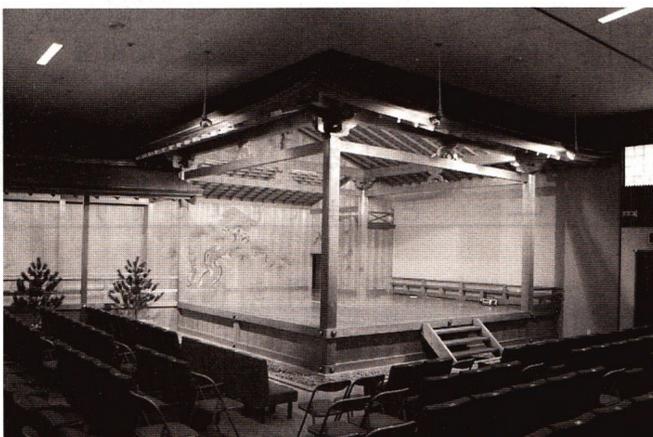
豊田郡大崎上島町生まれの71歳。1954年、叔父である大島家3代目・大島久見氏の養子となる。58年、東京の喜多流宗家15世の内弟子となり、34歳の時に帰郷。能楽の普及活動に努めながら、国内はもとより海外公演にも参加する。12月、創建100周年記念公演を開催した。能楽シテ方喜多流職分。日本能楽会会員。国総合指定重要無形文化財。

# 大島政允さん

おおしままさのぶ

に演じられた。喜多流の特長は「型は簡素、雄大で力強く直線的、謡も質実剛健」といわれている。江戸幕府の崩壊により能楽は一時衰退したものの、喜多流は一四世・喜多六平太によって再興された。福山藩でも能楽師の家が途絶えたため、藩士であった大島七太郎が跡を継ぎ、備後一円に能楽を普及させた。初代となった七太郎の長男で二代目の寿太郎は尋常小学校校長の職を辞して能楽師となり、1914年に同市新馬場町(現在の霞町)に能舞台を建立。17年には能楽「輻浦」を創作して演能した。

45年、福山空襲により大島家の能舞台も消失。三代目の久見氏は焼け野原になった福山にいち早く能舞台を再建し、演能・普及活動に尽力した。71年には本格的な能楽堂を建設。喜多流能楽教室(現在の定例鑑賞能)を立ち上げて、数々の大曲を披いた。四代目の政允さんは一二歳のとき、叔父である久見氏の養子となり、中学を卒業後一五歳で東京の家元の内弟子に。「住み込みでの修業は大変だったが、視野を広げることができて大変勉強になった」。三四歳で帰郷。2002年には輻浦を舞台にした新作能「輻のむろの木」(作・帆足正規、節付・大島政允)を発表、初演した。「能



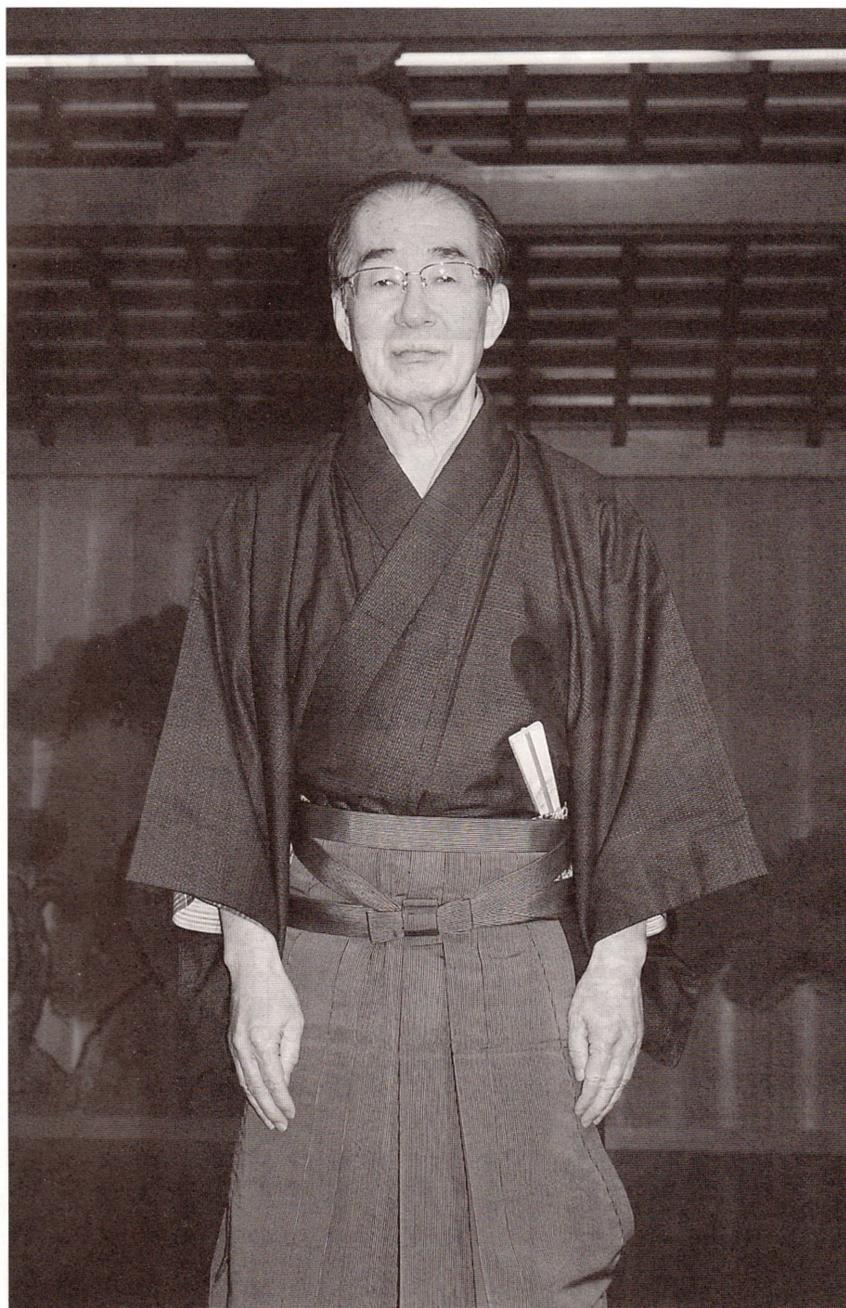
全国でも珍しい個人所有の能楽堂

の演目は京都や奈良が舞台になっているものが多いので、地元福山を舞台にした演目を作ることにした。伝統ある演目を継承することも大事だが、新たな作品を生み出すことも、次世代に対する私たちの役目だと感じている」

### 体験教室ですそ野広げる

これまで、国内だけでなく海外でも数多くの公演に参加してきた。「演者だけでなく、太鼓や笛、謡などを担当する人もいるし、裏方として支えてくれる人など、たくさんの方々の手によって公演が行われる」。東京での修業時代には、

# 100年の重み背負い 能の継承・普及一筋に



「先人から受け継いだ伝統の灯を守り、次の世代につなげていくことが私の使命」。全国でも珍しい私設能舞台「喜多流大島能楽堂」が2014年、創建100周年を迎える。喜多流大島家の四代当主として12月22日、「創建百周年記念能」を開催。難曲とされる「木賊」に挑んだ。補助席を加えて約400用意した席が、公演の三カ月前には完売するほどの盛況となった。

能楽は室町時代、足利義満の後援を受け、観阿弥・世阿弥親子によって大成された舞台芸術。桃山時代には能好きの豊臣秀吉が庇護した。秀吉が愛用し戦陣にも持ち運んだとされる組み立て式能舞台を、福山城築城の際に初代藩主の水野勝成が徳川幕府から譲り受け、城内や下屋敷で組み立てて演能したと伝えられる。舞台は現在も福山市鞆町の沼名神社境内に現存し、国の重要文化財に指定されている。

喜多流は江戸時代初期、それまであった四流派(観世・金春・金剛・宝生)に加えて一流樹立を許された新興流派で、シテ方(主役)五流派の一つ。流祖は喜多七太夫で、徳川秀忠の強い後押しにより創設された。福山藩では水野家時代には武家の間で、阿部家時代には町人の間でも流行し、盛ん

全国から集まった弟子たちと仲間になり、今でもさまざまな形で交流を保っている。「能のすそ野を広げていきたい」と、1997年から公共施設での体験教室を始めた。地元の小中学校への出前授業なども実施している。現在は長男で五代目の輝久さん、長女・衣恵さん、次女・文恵さん、三女・紀恵さんが大島家を盛り立てる。「四人の子どもたちが能楽を受け継いでくれ、また普及活動にも力を注いでくれて感謝している」

能楽堂の創建からちょうど100年。現在の能舞台は71年に再建されたもので、四二年がたった。年四回の解説付き定期公演を中心に、子どもや社会人を対象にした講座なども開く。現在、これらの活動を支援するサポーターを募集している。特典として定期公演チケット八枚(四万円分)進呈、指定席の用意などがある。会費は一口一〇万円で、締め切りは1月30日。

近年は「隅田川」など、自然体で演じられる作品が好きだという。「一〇〇年は一つの節目。これからも先人たちに思いをはせながら演じるとともに、より多くの皆さんに能を楽しんでもらえるよう、さらなる普及活動にまい進していきたい」